

# 2023年12月期 第1四半期 プレゼンテーション

ルネサスエレクトロニクス株式会社  
2023年4月27日

# 2023年 第1四半期 決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標 (以下Non-GAAPベース) を資料上開示しております。Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値 (国際財務報告基準: IFRS) から非経常的な項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

# 注意事項

---

- **IFRS適用**：グローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、IFRSを任意適用しております。
- **Non-GAAP業績値**：財務会計上の数値 (IFRS) から非経常的な項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- **業績予想の開示方法**：2019年12月期第1四半期の業績予想から、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更し、「Non-GAAPベース」にて売上総利益率・営業利益率を開示することといたしました。なお、売上総利益率および営業利益率は、売上収益予想の中間値により算出しております。
- **取得原価の配分 (PPA)**：2022年10月17日付で完了したSteradian Semiconductors Private Limited (以下「Steradian社」) との企業結合について、当連結会計期間において取得原価の配分の見直しを行いました。そのため、2022年12月期の数値について、取得原価の配分 (PPA) の見直しの内容を反映させております。

# 2023年12月期 第1四半期 決算概要

## NON-GAAP

(億円)	2022年12月期		2023年12月期				
	第1四半期 (1-3月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月) 予想	第1四半期 (1-3月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比*1 (2/9公表)
売上収益	3,467	3,913	3,550 (±75)	<b>3,597</b>	+3.7%	-8.1%	+1.3%
売上収益 (為替影響除く)	-	-	-	-	-6.3%	-2.5%	+0.8%
売上総利益率	58.4%	56.0%	54.5%	<b>56.2%</b>	-2.2pts	+0.2pt	+1.7pts
営業利益 (率)	1,355 (39.1%)	1,357 (34.7%)	32.5%	<b>1,248 (34.7%)</b>	-108 (-4.4pts)	-109 (+0.0pt)	+94 (+2.2pts)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	902	1,093	-	<b>1,075</b>	+173	-18	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (為替影響除く) *2	1,078	856	-	<b>1,068</b>	-10	+212	-
EBITDA *3	1,552	1,555	-	<b>1,443</b>	-109	-112	-
1米ドル=	115円	144円	130円	<b>133円</b>	18円 円安	12円 円高	3円 円安
1ユーロ=	130円	144円	140円	<b>142円</b>	12円 円安	2円 円高	2円 円安

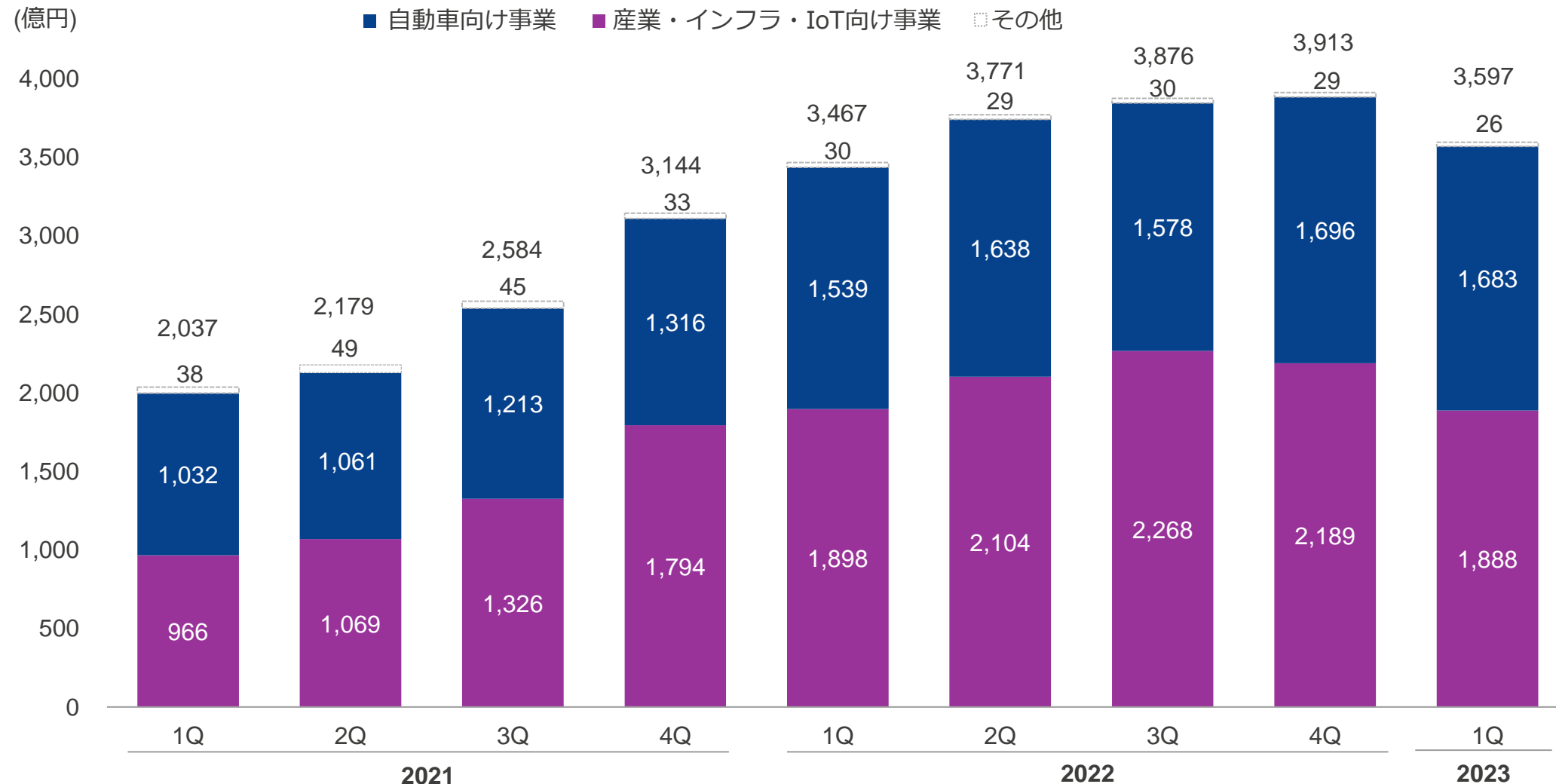
\*1: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

\*2: 親会社の所有者に帰属する当期利益 - 為替差損益

\*3: 営業利益+減価償却費及び償却費

# 売上収益 四半期推移

## NON-GAAP



### 売上収益

YoY: +3.7%  
QoQ: -8.1%

### 自動車向け事業

YoY: +9.3%  
QoQ: -0.8%

### 産業・インフラ・IoT向け事業

### IoT向け事業

YoY: -0.6%  
QoQ: -13.8%

# 2023年12月期 第1四半期 売上収益・売上総利益率・営業利益率

NON-GAAP

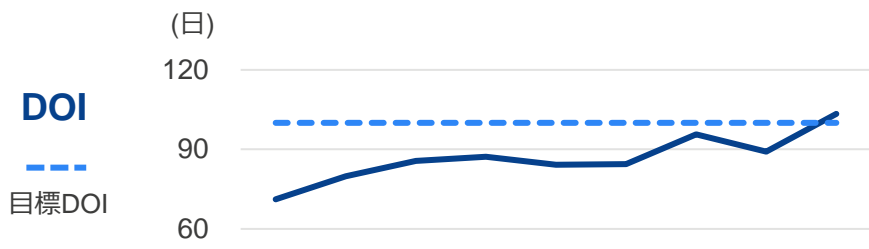
	自動車 向け事業	産業・インフラ・IoT 向け事業	全社合計
売上 収益	1,683億円 予想比: + QoQ: -0.8%	1,888億円 予想比: + QoQ: -13.8%	3,597億円 予想比: +1.3% QoQ: -8.1%
売上 総利益率	52.8% QoQ: +4.6pts	59.4% QoQ: -3.1pts	56.2% 予想比: +1.7pts QoQ: +0.2pt
営業 利益率	36.1% QoQ: +5.0pts	33.5% QoQ: -3.2pts	34.7% 予想比: +2.2pts QoQ: +0.0pt

営業利益率 予想比 +2.2pts
↑ 売上収益
↑ 売上総利益率 予想比: +1.7pts
→ 為替
↑ 製品ミックス
↑ 生産回収
↑ 製造費用等
↓ 営業費用

営業利益率 QoQ +0.0pt
↓ 売上収益
↑ 売上総利益率 QoQ: +0.2pt
→ 為替
↑ 製品ミックス
↓ 生産回収
↓ 製造費用等
↓ 営業費用

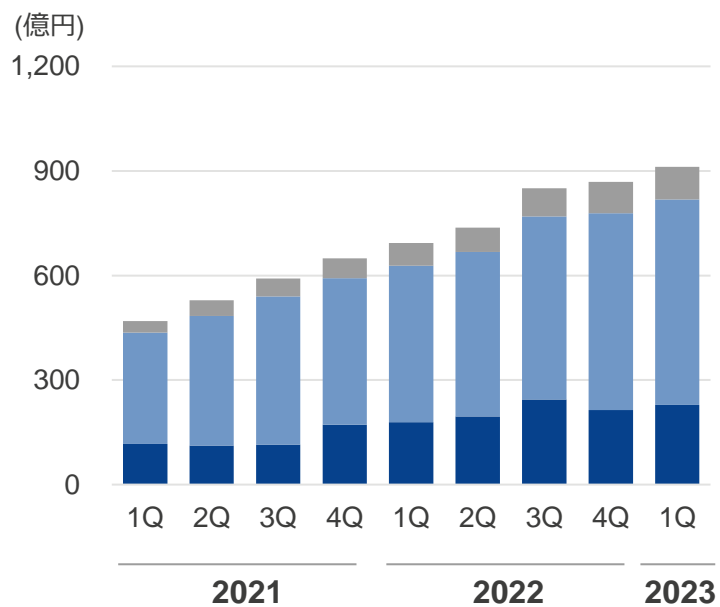
# 当社在庫 (決算ベース) とDOI\*1\*2

## 自動車

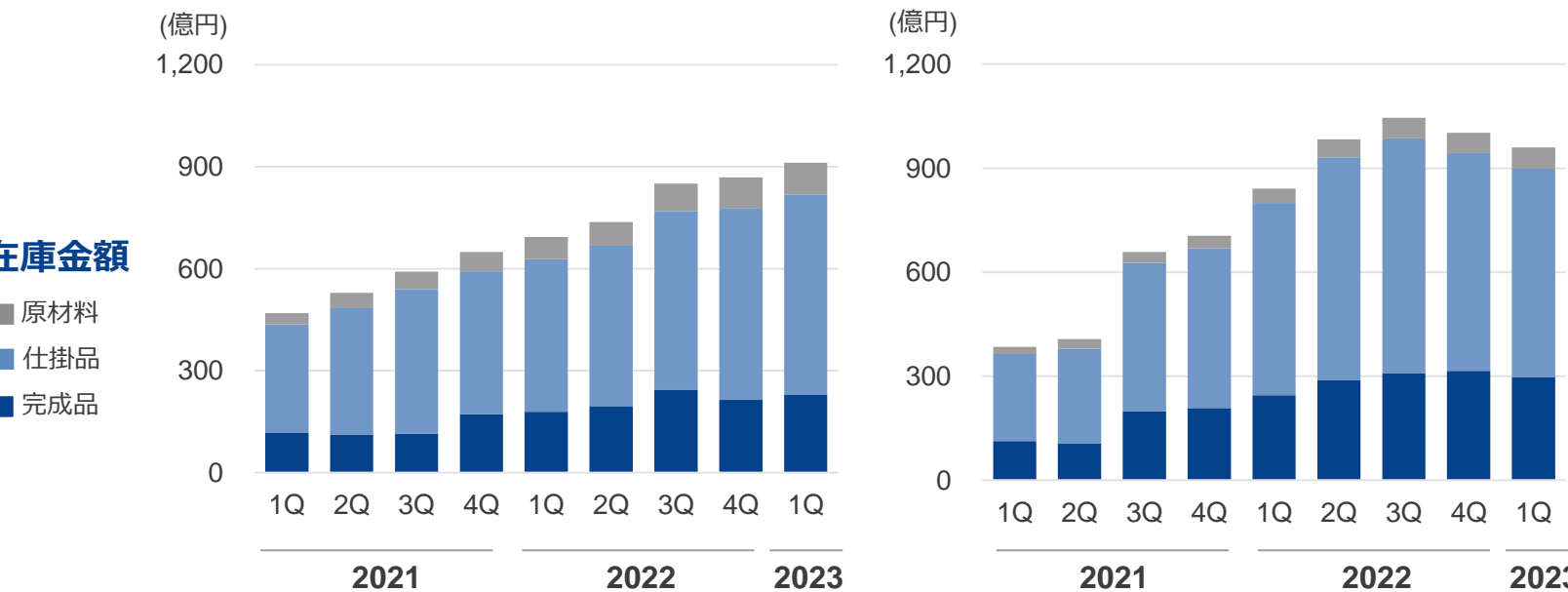
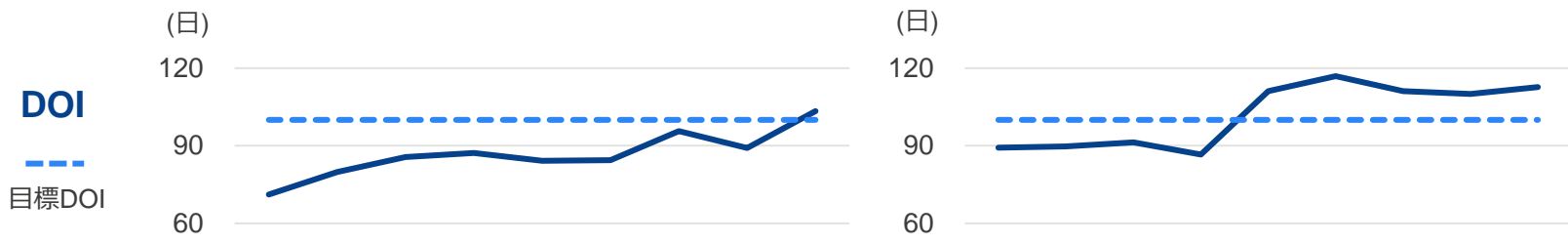


## 在庫金額

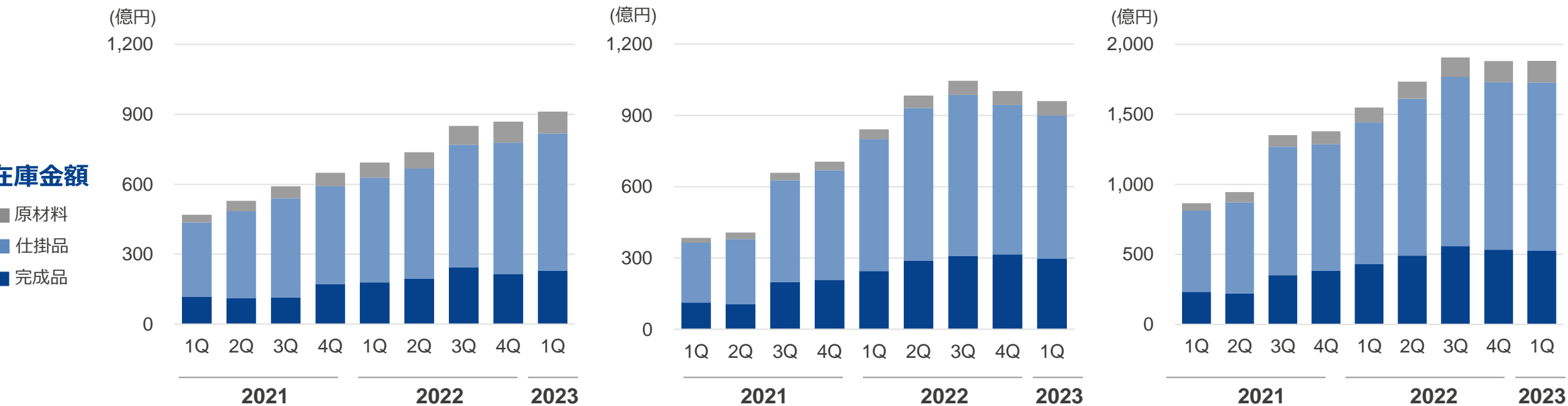
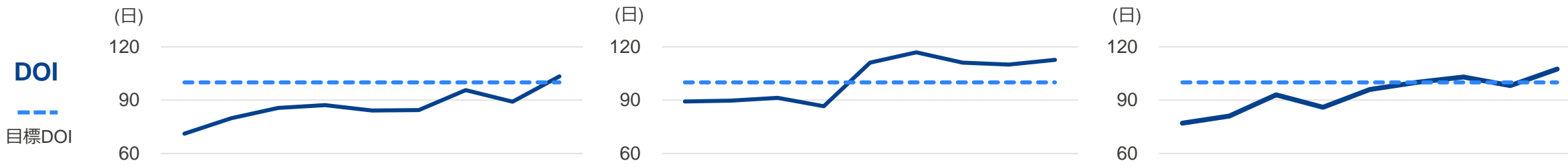
- 原材料
- 仕掛品
- 完成品



## 産業・インフラ・IoT



## 全社合計

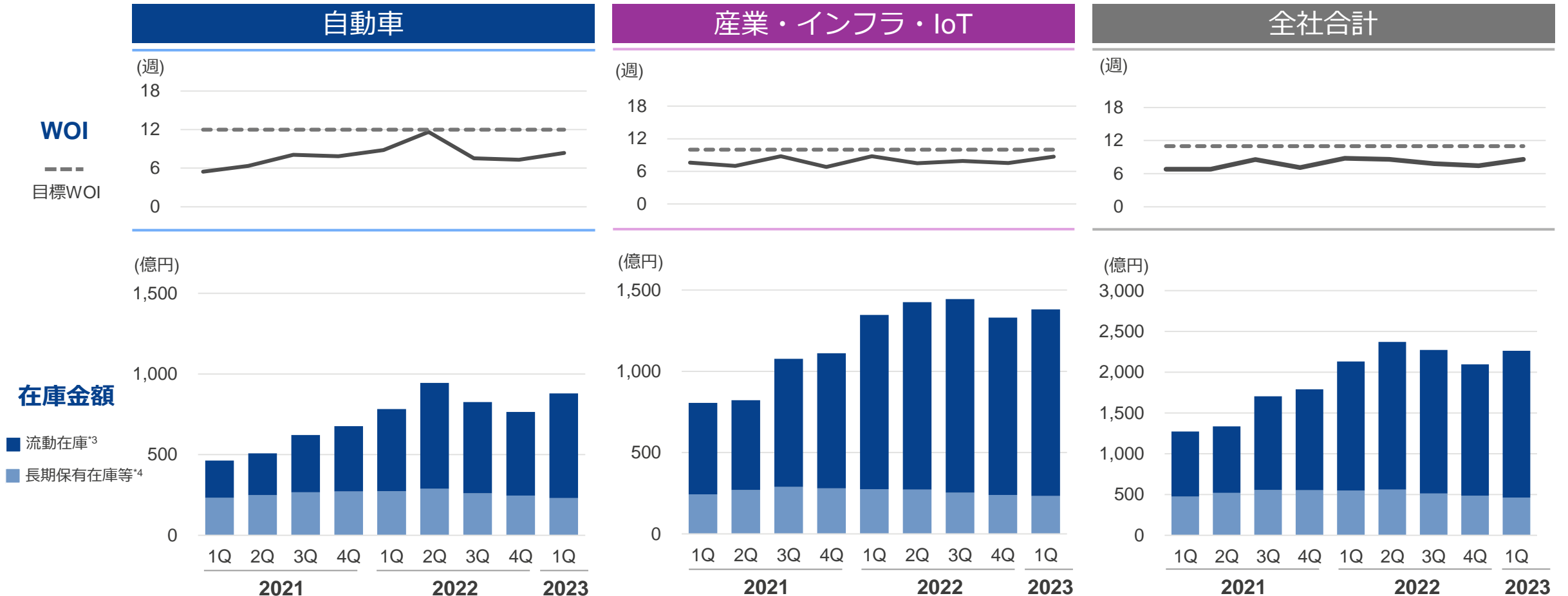


\*1: DOI (Days of Inventory) = 当該四半期末棚卸資産残高 / 当該四半期売上原価 (Non-GAAP) × 90。

\*2: 2021年第3四半期よりDialog分を、第4四半期よりCeleno分を含みます。ただし、2021年第3四半期の四半期売上原価のうちDialog分は、Dialog 9月単月×3で算出しています。

# 販売チャネル在庫\*1 (管理ベース) とWOI\*2

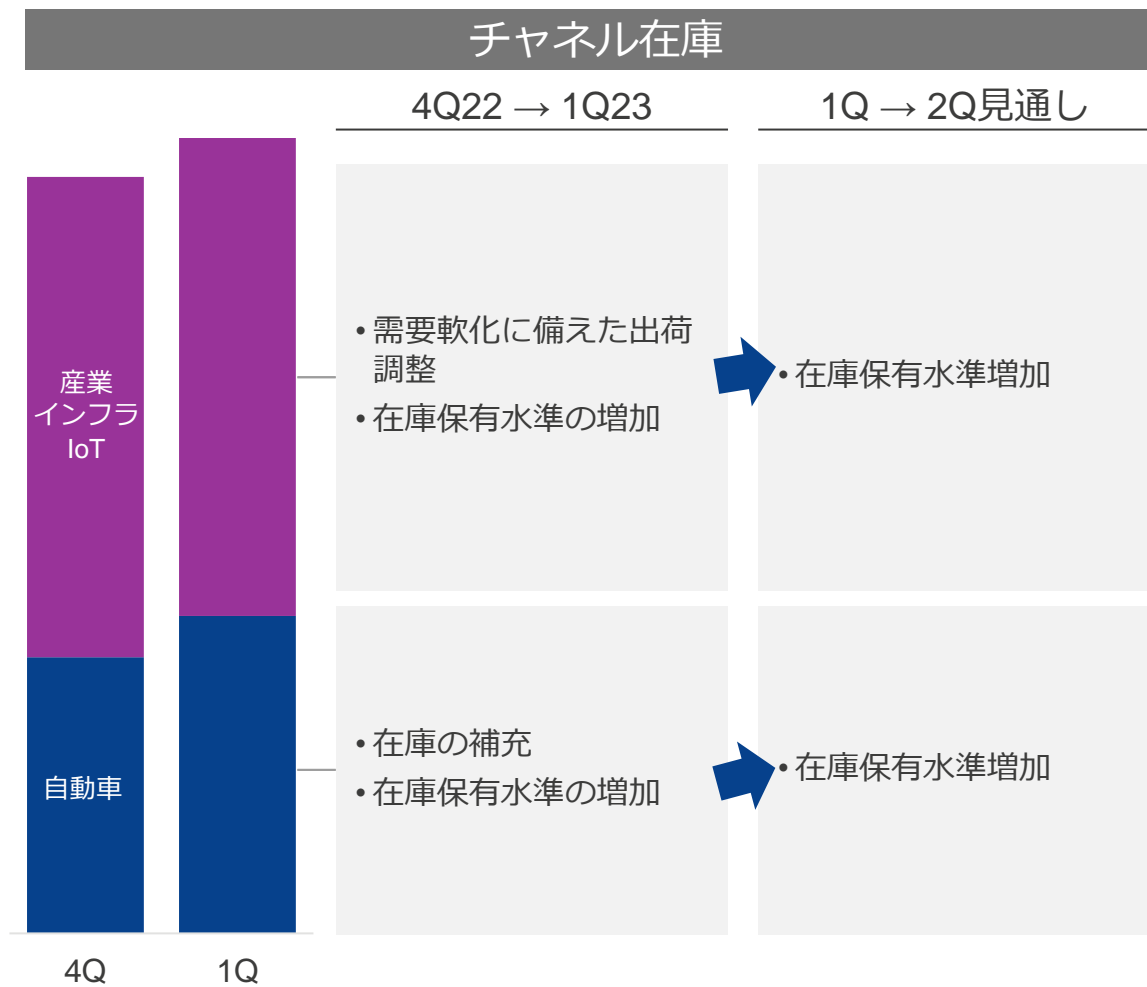
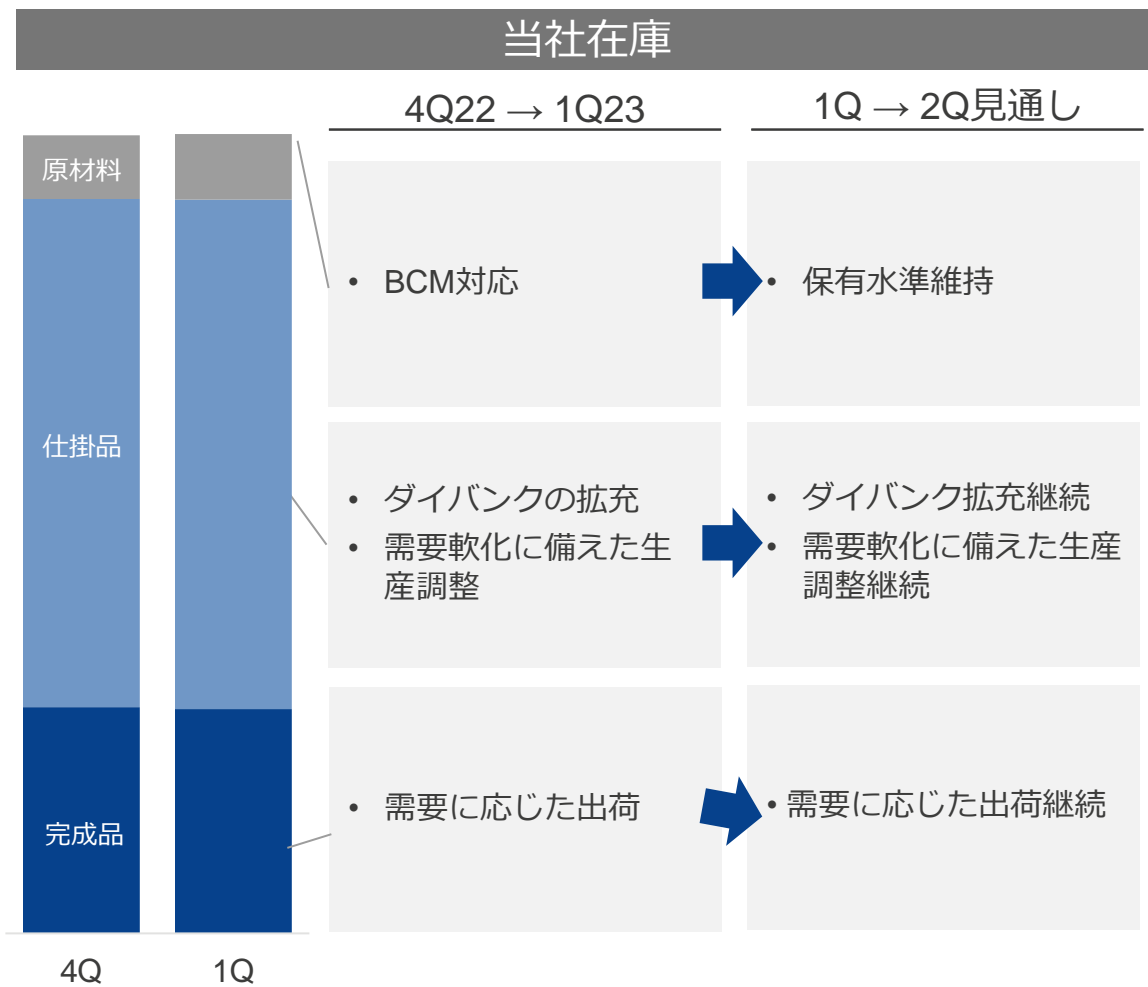
2023年度予算レートベース\*5



\*1: チャンネル在庫 : 日系顧客向けの特約店と海外のディストリビューターの在庫総量。2021年9月よりDialogチャンネル在庫、2022年3月よりCelenoチャンネル在庫を含みます  
 \*2: WOI : WOI (Weeks of Inventory) = 当該四半期末チャンネル在庫 / (当該四半期チャンネル売上原価 / 13週)。なお、在庫管理上、適切なWOI算出のためチャンネル在庫から特殊な長期保有在庫等を除いた在庫残高を使用しています。  
 \*3: 流動在庫 : チャンネル在庫 - 長期保有在庫等  
 \*4: 長期保有在庫等 : 保有期間が特殊な在庫 (生産終了品 (EOL)、イーコマース用在庫等)  
 \*5: 予算レート : 予算編成上の為替レート変更に伴い、過去値 (2021年度及び2022年度) についても2023年度予算レートを適用しています。

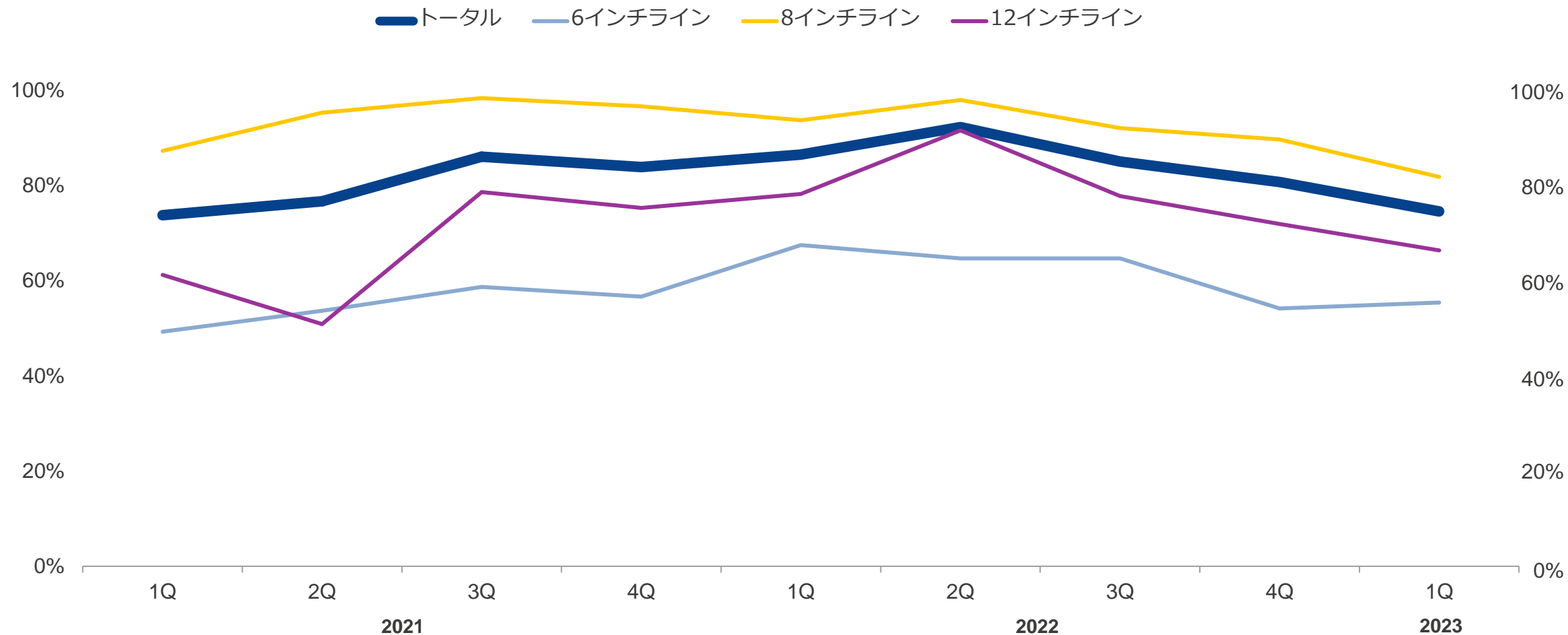


# 在庫増減要因



# 前工程稼働率\*1 四半期推移

## ウェハ投入量ベース

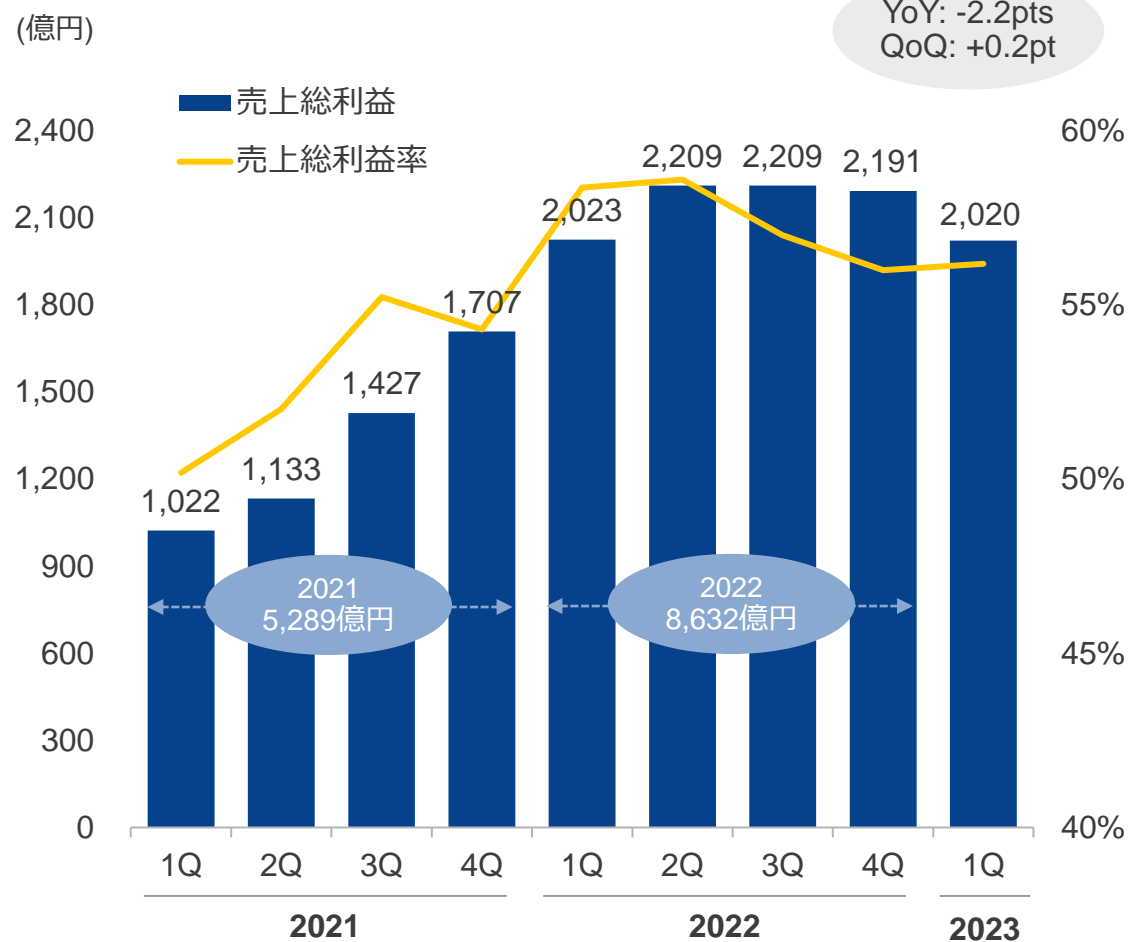


\*1: 稼働率：2021年第1四半期から6インチラインの滋賀工場 (2021年8月集約済み) の生産能力を、2022年度第1四半期から6インチラインの山口工場 (2022年6月集約済み) の生産能力除外し計算しています。

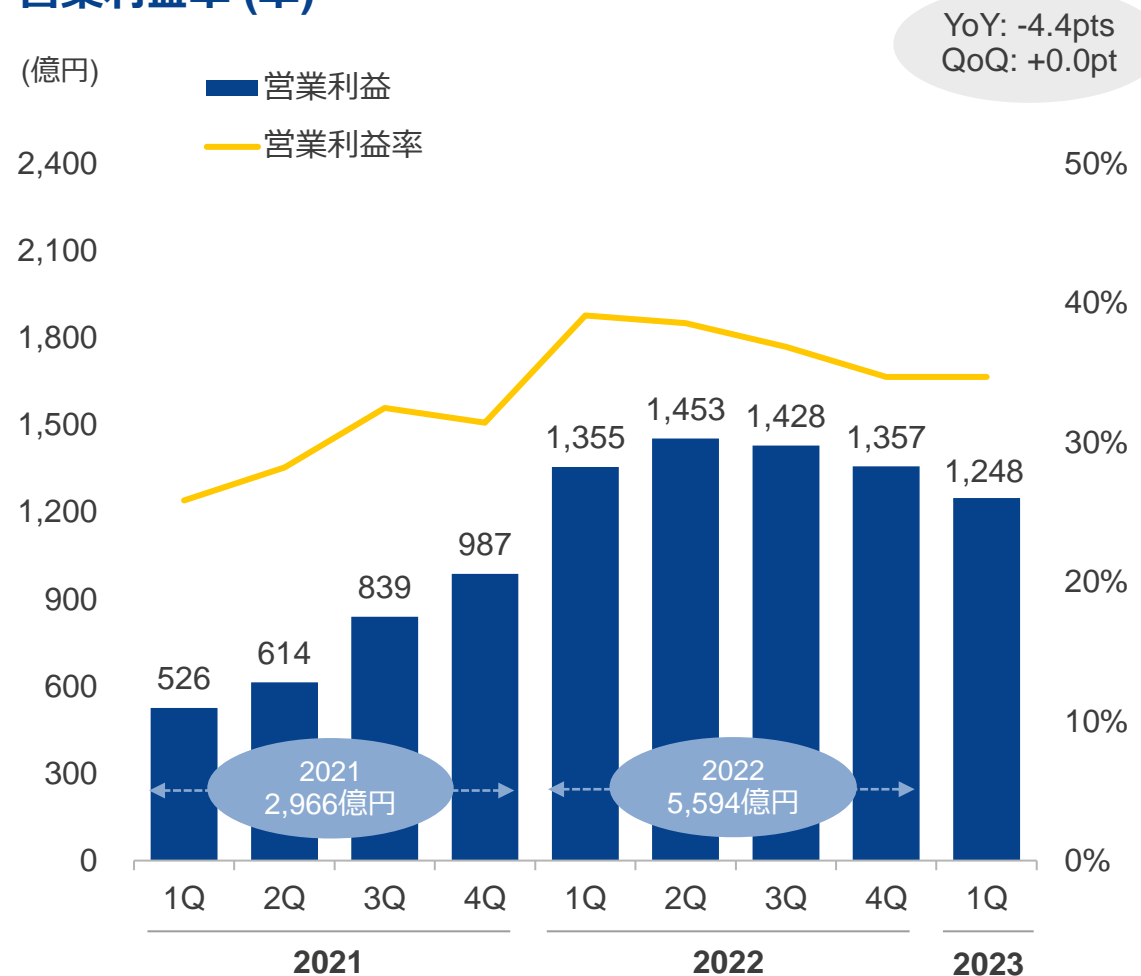
# 売上総利益および営業利益 四半期推移

## NON-GAAP

### 売上総利益 (率)

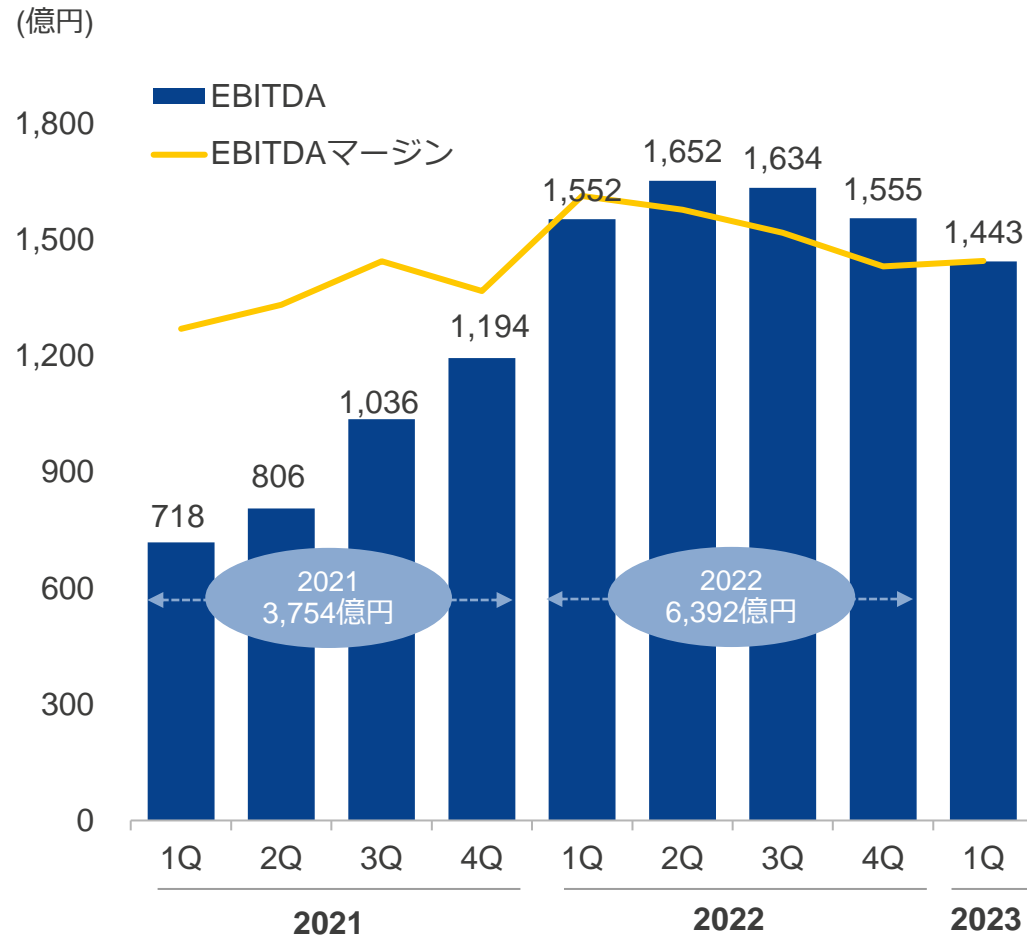


### 営業利益率 (率)

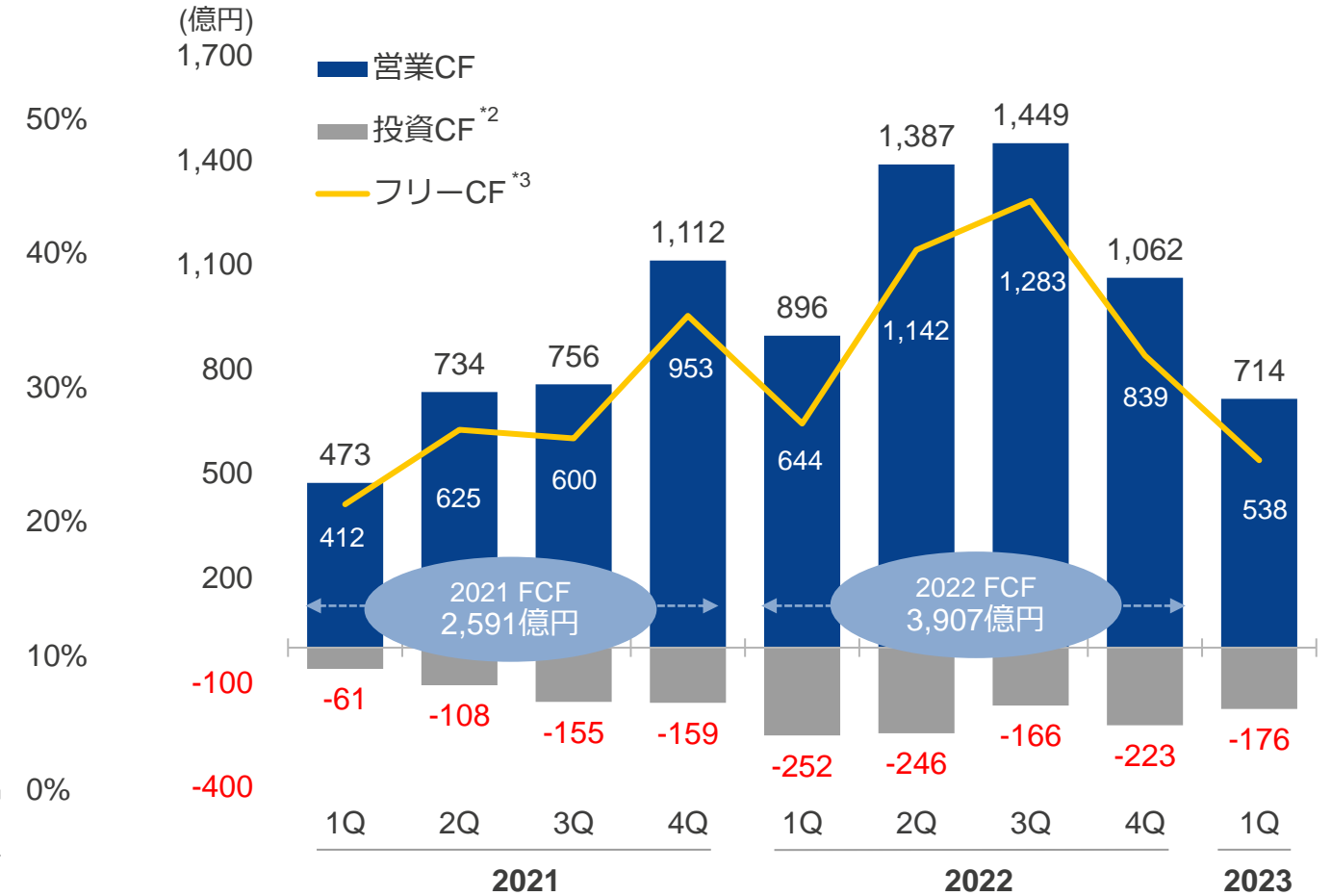


# NON-GAAP EBITDA\*1 およびGAAPキャッシュ・フローの状況

## Non-GAAP EBITDA



## GAAP キャッシュ・フロー



\*1: 営業利益+減価償却費及び償却費 \*2: 子会社の取得による支出及び、子会社株式の条件付取得対価の決済による支出を除いた数値 \*3: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

# 2023年12月期 第2四半期予想

## NON-GAAP

(億円)	2022年12月期		2023年12月期					
	第2四半期 (4-6月)	上期 (1-6月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月) 予想中央値 (レンジ)*1	前年同期比	前四半期比	上期 (1-6月) 予想	前年同期比
売上収益	3,771	7,238	3,597	<b>3,600 (±75)</b>	-4.5% (±2.0pts)	+0.1% (±2.1pts)	7,197 (±75)	-0.6% (±1.0pt)
(為替影響除く)	-	-	-	-	-8.7%	+0.1%	-	-
売上総利益率	58.6%	58.5%	56.2%	<b>55.5%</b>	-3.1pts	-0.7pt	+55.8%	-2.6pts
営業利益率	38.5%	38.8%	34.7%	<b>32.0%</b>	-6.5pts	-2.7pts	33.3%	-5.5pts
1米ドル=	124円	120円	133円	<b>132円</b>	8円 円安	1円 円高	132円	13円 円安
1ユーロ=	134円	132円	142円	<b>143円</b>	9円 円安	1円 円安	142円	10円 円安

\*1: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

# APPENDIX

本パートでは、セグメント情報やGAAP (IFRS) 準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

# セグメント別の売上収益および売上総利益

## NON-GAAP

(億円)	2022年12月期					2023年12月期		
	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第1四半期 (1-3月)	前年同期比	前四半期比
売上収益	3,467	3,771	3,876	3,913	15,027	3,597	+3.7%	-8.1%
自動車	1,539	1,638	1,578	1,696	6,450	1,683	+9.3%	-0.8%
産業・インフラ・IoT	1,898	2,104	2,268	2,189	8,459	1,888	-0.6%	-13.8%
その他	30	29	30	29	118	26	-11.9%	-8.1%
売上総利益 (率)	2,023 (58.4%)	2,209 (58.6%)	2,209 (57.0%)	2,191 (56.0%)	8,632 (57.4%)	2,020 (56.2%)	-3 (-2.2pts)	-171 (+0.2pt)
自動車	797 (51.8%)	852 (52.0%)	777 (49.3%)	818 (48.2%)	3,244 (50.3%)	889 (52.8%)	+92 (+1.0pt)	+71 (+4.6pts)
産業・インフラ・IoT	1,216 (64.1%)	1,347 (64.0%)	1,421 (62.7%)	1,368 (62.5%)	5,353 (63.3%)	1,121 (59.4%)	-95 (-4.7pts)	-247 (-3.1pts)
その他	8 (27.2%)	8 (28.3%)	8 (27.8%)	9 (32.1%)	34 (28.8%)	10 (39.5%)	+2 (+12.3pts)	+1 (+7.4pts)
調整額*1	2	1	2	-5	0	-0	-2	+5

\*1:非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けたものなどです。

# セグメント別の営業利益およびEBITDA\*1

## NON-GAAP

(億円)	2022年12月期					2023年12月期		
	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第1四半期 (1-3月)	前年同期比	前四半期比
<b>営業利益 (率)</b>	1,355 (39.1%)	1,453 (38.5%)	1,428 (36.8%)	1,357 (34.7%)	5,594 (37.2%)	<b>1,248 (34.7%)</b>	<b>-108 (-4.4pts)</b>	<b>-109 (±0.0pt)</b>
自動車	575 (37.4%)	594 (36.3%)	497 (31.5%)	526 (31.0%)	2,192 (34.0%)	<b>607 (36.1%)</b>	<b>+32 (-1.3pts)</b>	<b>+80 (+5.0pts)</b>
産業・インフラ・IoT	757 (39.9%)	843 (40.1%)	914 (40.3%)	803 (36.7%)	3,318 (39.2%)	<b>632 (33.5%)</b>	<b>-125 (-6.4pts)</b>	<b>-170 (-3.2pts)</b>
その他	8 (27.2%)	8 (28.3%)	8 (27.9%)	9 (32.1%)	34 (28.8%)	<b>10 (39.5%)</b>	<b>+2 (+12.3pts)</b>	<b>+1 (+7.4pts)</b>
調整額*2	15	8	9	19	50	<b>-2</b>	<b>-17</b>	<b>-21</b>
<b>EBITDA</b>	1,552	1,652	1,634	1,555	6,392	<b>1,443</b>	<b>-109</b>	<b>-112</b>
自動車	683	700	602	627	2,613	<b>704</b>	<b>+21</b>	<b>+77</b>
産業・インフラ・IoT	847	935	1,014	900	3,696	<b>731</b>	<b>-116</b>	<b>-169</b>
その他	8	8	8	9	34	<b>10</b>	<b>+2</b>	<b>+1</b>
調整額*2	15	8	9	19	50	<b>-2</b>	<b>-17</b>	<b>-21</b>

\*1: 営業利益+減価償却費及び償却費

\*2: 非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けたものなどです。



# バランスシートの状況

## GAAP

(億円)	2022年 3月末	2022年 6月末	2022年 9月末	2022年 12月末	2023年 3月末
<b>資産合計</b>	25,987	28,403	30,133	28,125	<b>28,408</b>
うち 現金及び現金同等物*1	2,672	2,479	3,101	3,361	<b>3,614</b>
うち 棚卸資産	1,555	1,733	1,907	1,880	<b>1,882</b>
うち のれん	11,593	12,946	13,736	12,643	<b>12,723</b>
うち 無形資産	5,320	5,597	5,574	4,888	<b>4,669</b>
<b>負債合計</b>	12,526	13,911	13,591	12,750	<b>11,797</b>
うち 有利子負債*2	8,105	8,860	8,204	7,700	<b>7,414</b>
<b>資本合計</b>	13,461	14,492	16,542	15,375	<b>16,611</b>
D/Eレシオ (グロス)*3	0.60	0.61	0.50	0.50	<b>0.45</b>
D/Eレシオ (ネット)*4	0.40	0.44	0.31	0.28	<b>0.23</b>
親会社所有者帰属持分比率*5	51.7%	50.9%	54.8%	54.5%	<b>58.3%</b>
レバレッジレシオ (グロス) (倍)*6	1.8	1.6	1.4	1.2	<b>1.2</b>
レバレッジレシオ (ネット) (倍)*7	1.2	1.2	0.8	0.7	<b>0.6</b>
期中平均株式数 (自己株式を除く) (百万株)	1,945	1,933	1,788	1,793	<b>1,799</b>

\*1: 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成されています。

\*2: 借入金 (流動負債) + 借入金 (非流動負債) + リース負債 (流動負債) + リース負債 (非流動負債) + 社債の合計

\*3: 有利子負債 / 親会社の所有者に帰属する持分 \*4: (有利子負債 - 現金及び現金同等物) / 親会社の所有者に帰属する持分 \*5: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債及び資本合計

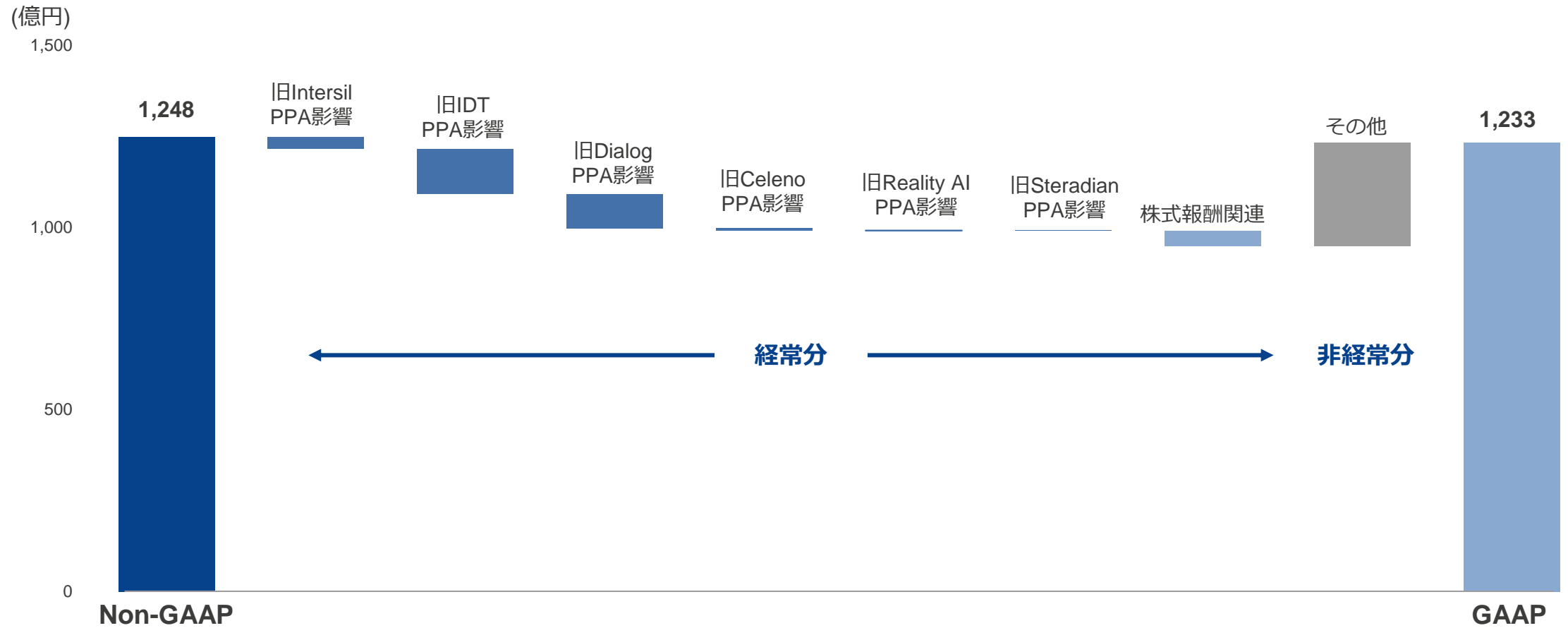
\*6: 有利子負債 / EBITDA ただし、EBITDAはNon-GAAPベース \*7: (有利子負債 - 現金及び現金同等物) / EBITDA ただし、EBITDAはNon-GAAPベース

# GAAPとNON-GAAP間の調整項目\*1

億円	2022年12月期								2023年12月期			
	第1四半期								第1四半期			
	売上 総利益	営業利益	当期利益	EBITDA	売上 総利益	営業利益	当期利益	EBITDA	売上 総利益	営業利益	当期利益	EBITDA
<b>Non-GAAP (売上収益比)</b>	2,023 (58.4%)	1,355 (39.1%)	902 (26.0%)	1,552 (44.8%)	8,632 (57.4%)	5,594 (37.2%)	3,773 (25.1%)	6,392 (42.5%)	2,020 (56.2%)	1,248 (34.7%)	1,075 (29.9%)	1,443 (40.1%)
経常項目	-17	-294	-252	-51	-60	-1,272	-1,075	-215	-8	-299	-258	-45
旧Intersil PPA影響	-1	-37	-28	-	-3	-146	-87	-	-1	-32	-24	-
旧IDT PPA影響	-1	-107	-94	-	-5	-484	-427	-	-1	-124	-109	-
旧Dialog PPA影響	-5	-95	-75	-4	-22	-410	-330	-18	-4	-93	-76	-3
旧Celeno PPA影響	-7	-15	-15	-7	-15	-50	-50	-15	-	-7	-7	-
旧Reality AI PPA影響	-	-	-	-	-	-0	-0	-	-	-0	-0	-
旧Steradian PPA影響	-	-	-	-	-	-0	-0	-	-	-0	-0	-
株式報酬費用	-3	-40	-40	-40	-15	-181	-181	-181	-3	-42	-42	-42
非経常項目	-27	-63	-51	-63	-32	-80	-132	-75	-11	284	235	284
那珂工場火災影響	-7	2	2	2	-9	-0	-0	-0	-	296	296	296
その他	-20	-66	-53	-65	-23	-80	-132	-75	-11	-13	-61	-12
<b>Non-GAAP調整項目合計</b>	<b>-44</b>	<b>-357</b>	<b>-303</b>	<b>-114</b>	<b>-92</b>	<b>-1,352</b>	<b>-1,207</b>	<b>-290</b>	<b>-19</b>	<b>-15</b>	<b>-23</b>	<b>240</b>
<b>GAAP (売上収益比)</b>	1,979 (57.1%)	998 (28.8%)	599 (17.3%)	1,438 (41.5%)	8,540 (56.9%)	4,242 (28.3%)	2,566 (17.1%)	6,102 (40.7%)	2,001 (55.7%)	1,233 (34.3%)	1,052 (29.3%)	1,683 (46.8%)

\*1: PPA (取得原価の配分) 実施に伴い、2021年第3四半期から売上収益にもNon-GAAP調整が含まれています。

# 2023年12月期第1四半期 連結営業利益 NON-GAAPからGAAPへのブリッジ



# 2023年12月期 第1四半期決算概要

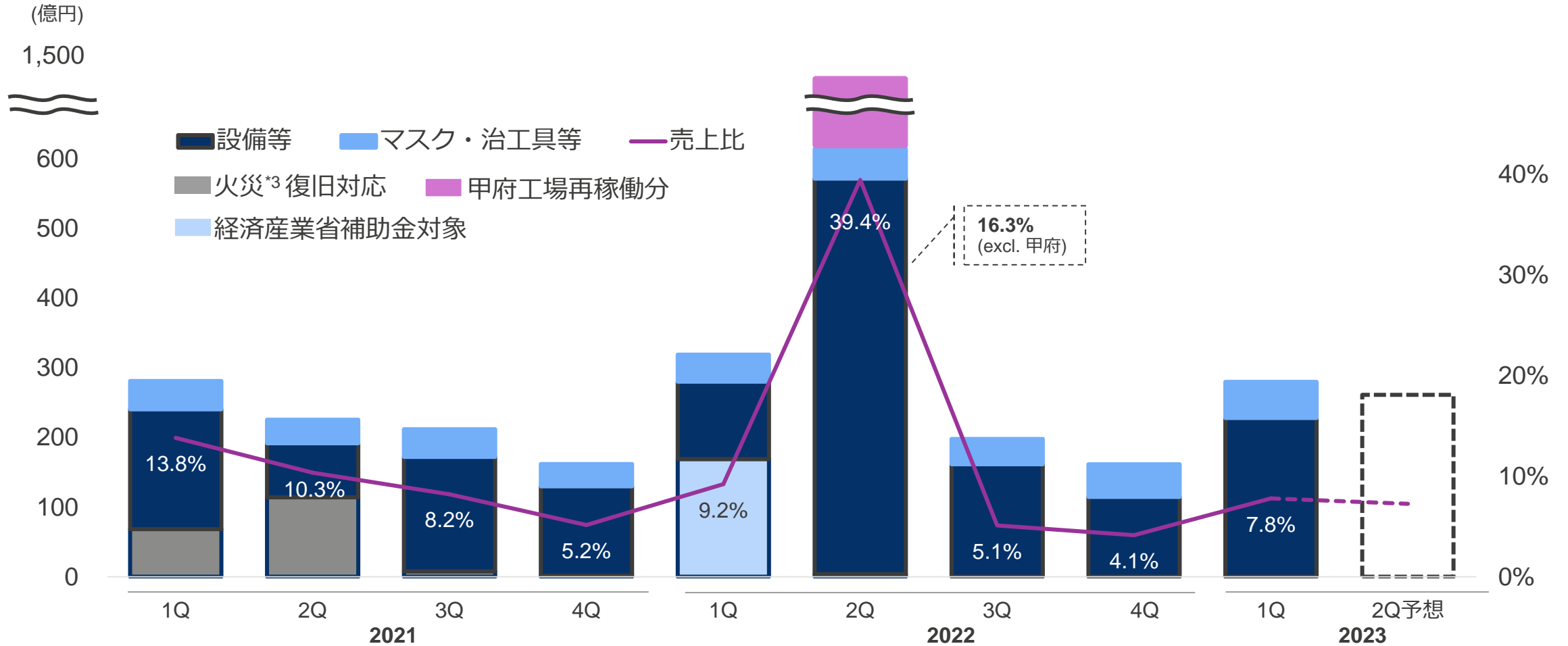
## GAAP

(億円)	2022年12月期		2023年12月期		
	第1四半期 (1-3月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月)	前年同期比	前四半期比
売上収益	3,463	3,908	<b>3,594</b>	<b>+3.8%</b>	<b>-8.0%</b>
売上総利益率	57.1%	55.8%	<b>55.7%</b>	<b>-1.5pts</b>	<b>-0.2pt</b>
営業利益 (率)	998 (28.8%)	962 (24.6%)	<b>1,233 (34.3%)</b>	<b>+234 (+5.5pts)</b>	<b>+271 (+9.7pts)</b>
親会社の所有者に 帰属する当期利益	599	715	<b>1,052</b>	<b>+453</b>	<b>+337</b>
EBITDA*1	1,438	1,444	<b>1,683</b>	<b>+244</b>	<b>+239</b>
1米ドル=	115円	144円	<b>133円</b>	<b>18円 円安</b>	<b>12円 円高</b>
1ユーロ=	130円	144円	<b>142円</b>	<b>12円 円安</b>	<b>2円 円高</b>

\*1: PPA (取得原価の配分) 実施に伴い、売上収益にもNon-GAAP調整が含まれております。本ページの売上収益はIFRSに基づく金額です。

\*2: 営業利益+減価償却費及び償却費

# 設備投資額の状況\*1\*2



\*1: 有形固定資産および無形資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。ただし、Dialog、Celeno投資分は設備納入ベースの金額としています。

\*2: 2019年12月期第2四半期よりIDT投資分、2021年12月期第3四半期よりDialog投資分、2022年12月期第1四半期予想よりCeleno投資分を含めて、当社グループ全体の投資金額を表示しています。

\*3: 2021年3月19日に当社連結子会社の工場において発生した火災

# Pantronics社買収について



## Pantronics社 概要

会社名	Pantronics AG
本社	オーストリア (グラーツ)
事業内容	NFC (近距離無線通信) 向け半導体の設計、販売

## 買収概要

買収原資	手元現金
クロージング	2023年12月末まで (予定)

## 狙い



### コネクティビティ ポートフォリオの拡充

- Dialog社・Celeno社買収を通じて拡充したコネクティビティを更に強化し顧客ニーズに対応



### 成長分野へのNFCソリューションの提供

- フィンテック、IoT、アセットトラッキング、ワイヤレス給電、自動車など需要が拡大する市場に対してソリューションを提供



### グローバルR&D人材増強

- オーストリアを中心拠点とするR&D人材拡充

---

## Renesas.com

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としては、(1) ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2) 市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4) 為替レート (特に米ドルと円との為替レート) の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。